



JR 東労組水戸

JR 東 労 組 水 戸 地 方 本 部
発行責任者 吉 田 浩 美
編 集 情 宣 部 担 当

2022.7.22

No.2

第36回定期大会を開催！！ 大会宣言を読み合わせしよう！

大会宣言 (案)

J R 東 労 組 水 戸 地 本 は 7 月 2 1 日、ザ・ヒロサワ・シティ会館において「第36回定期大会」を開催し、2022年度運動方針を満場一致で確認した。

昨年5月の再建大会以降、役員経験の少ない執行委員が多い中、執行委員会で自分の考えを率直に出し合い、議論を積み重ねてきた。また、各支部での総対話を繰り返し、組合員の意見をもとに水戸地本の運動をつくることにこだわってきた。さらに、新型コロナウイルス感染対策を行った上で、退職者、エルダー雇用終了者、ライフサイクルで奮闘する組合員の激励会やレクリエーションの開催、共済活動や本部、地本独自の見舞金の支給など、組合員に寄り添うことにこだわり、涙あり、笑いありの水戸地本運動を進めてきた。

そして、今回の大会でも発言があったように、J R 東 労 組 の 分 会 再 建 に 向 け て、仲 間 達 の 真 剣 な 議 論 と、人 間 関 係 の 積 み 重 ね に よ り、J R バ ス 土 浦 分 会 再 建 が 実 現 し た。また、4つの職場の過半数代表選にJ R 東 労 組 代 表 者 が 立 候 補 し、J R バ ス 白 河 支 店 で 勝 利 し た こ と を は じ め、各 職 場 で の 組 合 員 数 を 大 き く 上 回 る 票 を 勝 ち 取 っ た。さらに、総対話への未加入者の参加など、多くの成果に結実した。これらの成果は、水戸地本がこだわってきた組合員に寄り添う運動の積み重ねによる信頼関係の強化と、職場での仲間の奮闘により実現することができた。

さらに、コロナ特別融資やウクライナ避難民支援カンパについて、職場の組合員の意見をもとに、水戸地本から問題提起をすることができた。また、営業体制の見直しや組織再編等の会社施策提案に対し、職場に足を運び、組合員の意見に基づいた申し入れと団体交渉を積み重ね、議事録確認を締結するなど、安全で安心して働くことのできる職場づくりに奮闘してきた。

これら再建大会以降の水戸地本の取り組みは、「えん罪・JR浦和電車区事件」をはじめとする弾圧や組織破壊に抗し、つくりあげてきたJ R 東 労 組 運 動 を、水 戸 地 本 に 取 り 戻 す 取 り 組 み で も あ っ た。そして運動を進めることにより、着実にJ R 東 労 組 の 組 合 員 同 士 の 信 頼 関 係 を 積 み 重 ね、組 織 強 化 に つ な が っ て い る。

J R 東 労 組 水 戸 地 本 は、再 建 大 会 以 降 積 み 上 げ て き た 実 践 に 裏 打 ち さ れ た 成 果 に 自 信 を も ち、こ れ か ら も 組 合 員 の 声 を も と に 取 り 組 み を 進 め て い く。そして、水戸地本のさらなる組織強化・拡大を実現し、「抵抗とヒューマニズム」の精神を基礎に、安全で働きやすい職場を元気よく作りだし、平和と安全が保障された、安心して暮らせる社会を、全組合員で実現しよう！

以上、宣言する。

2022年7月21日
東日本旅客鉄道労働組合
水戸地方本部
第36回定期大会

明るく・楽しく・元気よく！仲間とのつながりを強化し、
組織強化・拡大を実現しよう！